

御槇小学校だより

校訓 **みがく まなぶ きたえる**
教育目標 **心豊かで たくましく生きる児童の育成**



4月号

令和6年4月17日

令和6年度がスタートしました。今年度も御槇小学校をよろしく申し上げます。

4月8日（月）に1年生加嶋麻音君と森本啓太君、2名の転任の先生を迎え、入学式を行いました。たくさんの地域の皆さんに御来校いただき本当にありがとうございました。新入生の2人は、名前を呼ばれたら、元気な声でしっかりと、「はい」と返事ができました。前を向いて、きちんと話を聞く姿には、「これから頑張るぞ」という強い気持ちが伝わってきました。11名の在校生も心を込めて、新入生を迎えることができました。これから全校児童13名は、力を合わせて、助け合い、励まし合って、仲良く勉強や運動に頑張ってくれることだと思います。楽しみに、温かく見守りをお願いします。御槇小学校は、子供たちの学校であると同時に、御槇地区の大切な学校です。今年度も、保護者の方々をはじめ、地域の皆様方と連携し合って、ますます輝きのある学校にしていこうと、教職員一同張り切っています。どうぞよろしく申し上げます。



5月の行事予定



日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
1	水	遠足 1年生を迎える会 【山本牧場】	14	火	歯科検診 9:30～ジョブチャレ・スタートセッション 外国語松下先生来校
3	金	憲法記念日	15	水	内科検診 13:30～
4	土	みどりの日	19	日	授業日【プール掃除】下校 11:40
5	日	こどもの日	20	月	繰替休業日
6	月	振替休日	21	火	クラブ活動 外国語松下先生来校
8	水	委員会活動	22	水	修学旅行（6年）～24日
9	木	体重測定 尿検査回収日 ALT来校	28	火	交通安全教室 外国語松下先生来校
10	金	遠足予備日（給食あり）			眼科健診（清満小 13:30～）

職員紹介

新しい職員を2名迎え、「チーム御槇」頑張ります！

	<p>日吉小学校より昇任校長として参りました日野 岳です。山好きの両親に育てられた私にとっては、御槇は最高の環境です。子供たちとたくさんの思い出を作りたと思っています。</p>		<p>1・2年担任の山本由美です。子供たちが心豊かに成長していけるように、自分自身と学校生活を整えていきたいと思えます。</p>
	<p>5・6年担任の三好尚史です。天神小学校から参りました。美しく静かな環境、おいしい給食、そして何より元気で素直な子供たちと心に響く校歌の歌声…。幸せな気持ちで毎日を送っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>		<p>3・4年担任の津野博美です。みまきっ子と一緒に御槇のよいところ、御槇のステキなところをたくさん見付けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
	<p>養護教諭の斎藤里彩です。御槇っ子の心と体の両面をしっかりサポートし、一日一日を大切に過ごしていきたいです。よろしくお願いいたします。</p>		<p>学校教育活動支援員の末廣 洋子です。今年度は、全学級が複式学級になったので、全校児童と学習させていただきます。地域学校協働推進員としてもお世話になります。</p>
	<p>学校用務員の福田友子です。校内や外の環境を整え、過ごしやすい学校になるように、頑張ります。</p>		<p>給食調理員の藤田佐由美です。「いただきます」「ごちそうさま」が毎日聞かれるように、健康に気を付けて、笑顔で頑張ります。</p>

地域の皆様、いつも子供たちを温かく見守っていただきありがとうございます。13名の子供たちが、安全に登下校できるよう、今年度もできる範囲で構いませんので、見守り、声掛け等をお願いします。日に日に暖かくなり、土曜・日曜日等、休日にはたくさんの観光客も来られているようです。子供たちには自転車の乗り方、道路の渡り方等に気を付けるよう指導しておりますが、地域の皆様の温かい声掛けが一番です。「命は一つ」、子供たちの明るい笑顔が、この御槇地区を輝かせるために、よろしくお願いいたします。

日野のつぶやき！

「人は人中、木は木中」という言葉をご存じでしょうか。鹿児島県の南の方に、世界遺産に登録された屋久島という島があります。その島で古くから言い伝えられている言葉だそうです。屋久島には、「屋久杉」と呼ばれている樹齢 3,000 年を越える巨大な杉の木が有名ですが、杉の木は、杉林の中でしか育たないそうです。人の手で周りの木が切り倒されたり、台風などで木が倒れたりしてしまうと、林の中の環境が崩れ、大きな杉が育たず、やがて枯れてしまうそうです。木は木の中でこそ生きて育つことを先人たちはよく知っていました。同じように、私たち人もまた人の中で育つということです。スマートフォンや PC、ゲームなどの普及が進み、友達や家族との触れ合いが少なく、一人で過ごすことが多くなってきたと言われ始めてからずいぶん経ちます。幼い頃からこのような状況が続くと子供たちは、なかなか人としての豊かな心を育てることが難しくなるそうです。家族はもちろん、いろいろな人達とたくさん触れ合う中で、社会性や規範意識を培い、健やかに成長させることがとても大切になってきます。子供たちは家族や友達など、周囲にいるたくさんの人と関わり合うことで、様々な問題に出合います。その時こそが、まさに子供たちを一步成長させる絶好の機会だと思います。保護者としては、子供が難しい問題に出合ったり、時間が差し迫ったりしてしまうと、すぐ手を差し伸べてあげたいと思うのは当然です。けれども場合によっては、じっと我慢をし、子供がどう解決して乗り越えていくのかを、見守っていくことも大切なことだと思います。心配のあまり大人が先回りして問題を解決してしまうと、子供が自分自身で、問題を解決するせっかくの機会を失うことになるかもしれません。少しのことにはくじけない強い心を備えるためにも、子供たちの成長を見守って、子供に問題の解決を任せることが大切なことだと思います。「人は、人中」です。たくさんの人の中で、様々な経験を通して、子供たちをたくましく大きく育てていきたいものです。